

## 「山野草・園芸フェア」事業

### 日本の伝統技術と文化を伝え、新しさにも挑戦する「園芸の祭典」を開催

2013年3月22日～24日の3日間、上野のグリーンクラブで「山野草・園芸フェア」が開催された。今回は江戸時代に生まれた技術と文化を次世代に残すため、若者向けの試みも取り入れられ、例年以上の賑わいをみせた。

#### 初心者でも簡単に始められる山野草をアピール

今年も多くの園芸ファンが東京・上野にあるグリーンクラブに集まった。

主催する山野草・園芸フェア実行委員会・実行委員の小林英夫さんは「ファンにとってはこのフェアから春が始まるというくらい、定着しています。リピーターも多く、おかげさまで大盛況でした」と語る。

特に今年は、山野草の展示をいつもより多くした。盆栽やおもなどは、技術や手間を必要とするが、山野草なら初心者でも手軽に始めることができるからだ。若い世代の園芸ファンを開拓しようという試みである。

「若者に自然と親しみ、命を育む機会を持っていただくことが実行委員会の方向性になっています」と小林さん。グリーンクラブは上野公園の裏手にあり、デートの合間に立ち寄ったと見られるカップルも多くなっていた。

また、初心者にも親しんでもらおうと、展示会スタッフによる山野草の手入れ方法などの実演も増やしたところ、足を止めて熱心に見入る主婦も増えた。ただ、東日本大震災の影響もあってか、このところ増え続けていた外国人来場者はやや減少したようだ。それでも韓国や中国などのアジアはもちろん、ヨーロッパや北米からも多くの熱心な園芸ファンが訪れている。

今、海外では「園芸」が大ブームだ。盆栽は日本文化の象徴として珍重され、本家の盆栽を求めてやってくる。また園芸土なども輸出も好調のようだ。日本で園芸を学び、フランスやイタリアで大成功している人もいる。

「園芸を契機として、多くの国々で日本文化への理解

が深まればいいことなしですね」と小林さん。

こうした熱心なファンは初日の早い時間に殺到して、販売会での掘り出し物を探す。よい物は開園数時間で売れてしまうほどである。

#### 異なる世界観を一堂に集め、他にはない楽しさを演出

このフェアのもうひとつの特長は、7つの団体が協力して開催していることである。

後援には日本盆栽協同組合、日本草月文化振興会、日本小品盆栽協会、(社)日本おもと協会、日本伝統園芸協会、(有)日本山草、日本水石協会の7団体が並ぶ。

小林さんによれば「おそらく他にはない」らしい。ともすれば、競合してしまう立場だからだ。

「これまでの地道な活動による信頼関係の賜物です。



期間中は多くの園芸ファンが集まった



全国から集まった個性的な作品がずらりと並ぶ



イベントを告知するチラシ

またNHK文化センターやAJOSCのような全国的な団体に支援をいただけたことも大きいと思っています」と小林さん。

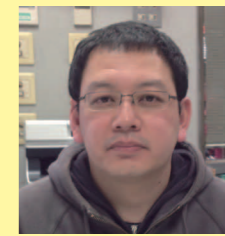
それだけに展示物は実に多彩だ。全国から集まった個性的な作品がずらりと並ぶ。山野草のすがすがしい姿もあれば、重厚で職人のワザが息づく盆栽もあり、枯山水を具現化したような水石が生み出す空気感も楽しむことができる。どのフロアを見ても新鮮で、飽きることがない。

「出品者たちも、今年はずっと珍しい物を展示しようと張り切っています。山野草でいえば、どんどん山奥に入っていくような感じですね」

また普段はガーデニングを楽しんでいる主婦が、別の園芸に親しむ機会にもなる。最近では、片手に乗るようなミニ盆栽で、手頃な価格のものが人気だが、こうした栽培しやすいものが売れるのは、新しく盆栽を始めた人が増えた現れでもある。

一方で、これまで園芸には使用さ

#### 担当者より



日本の園芸が集まることで和の楽しさを伝えられました。

山野草・園芸フェア実行委員会  
実行委員  
小林英夫さん

山野草を入りに若い世代に伝統的な和の園芸を広めることも活動の目的のひとつです。開催にあたりAJOSCのご支援をいただき、ありがとうございました。おかげさまで多くの来場者に和の楽しさを伝えることができました。

ることがなかった生活雑貨と草花を組み合わせたような作品も多く現れている。伝統的な栽培方法だけでなく、それぞれが思い思いのアイデアとアレンジで、花を楽しむようになってきている。ブログやフェイスブックで作品を紹介する人も増えた。

「国内における園芸関連の売り上げだけを見ますと、この10年間でかなり低下しています。ただ、ファン層の裾野は広がっていますし、楽しみ方も多様になっています。我々も今後の園芸ニーズに応えられるよう、新しいニーズに対する対応も必要になるでしょう」と小林さんは今後の抱負を語ってくれた。



熱心な園芸ファンは、初日の早い時間に来場し掘り出し物を探す